

図書館だより 87

問い合わせ先
上野村図書館
☎・FAX59・2460

万葉集で山上憶良が秋の七草を歌っています。いちどきに咲くのではなく、秋がふかまりながら花開いていく七種の草花。萩・葛・藤袴・なでしこ・おみなえし・桔梗・すすき みつけることができると嬉しいですね。

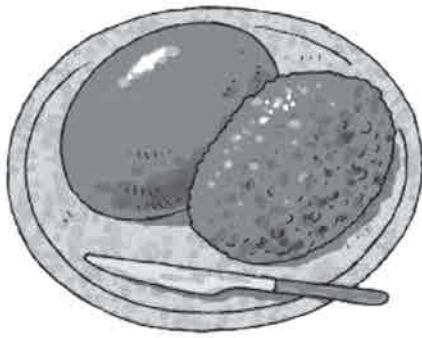
●気になる本

- 『送り火』 高橋弘希 (文藝春秋) …第159回芥川賞受賞作品
- 『ファーストラヴ』 島本理生 (文藝春秋) …第159回直木賞受賞作品
- 『悪玉伝』 朝井まかて (角川書店) …将軍をも相手取った大阪の辰巳屋一件の大岡裁き
- 『赤い靴』 大山淳子 (ポプラ社) …少女は、何を見たのか? 息もつかせぬ怒涛の展開。
- 『一億円のさようなら』 白石一文 (徳間書店) …発覚した妻の巨額隠し資産。続々と明らかになる家族のヒミツ。
- 『蝶のゆくへ』 葉室麟 (集英社) …葉室麟が遺した感動の歴史長編
- 『直島 過疎化する島で目撃した「現代アートの挑戦」全記録』 (ディスクヴァー・トゥエンティワン)
…今でこそ年間72万人訪れる直島。仕掛人が明かす庄巻のドキュメンタリー
- 『奇跡の村・舟橋 日本一小さな村の人口は、なぜ倍増したのか?』 富山新聞社報道局編 (富山新聞社)
…赤ちゃんから高齢者までの村民の暮らしやすさを考える。日本一面積が小さい自治体で、人口が倍増に!!
- 『奇跡の村 地方は「人」で再生する』 相川俊英 (集英社) …独自の移住促進策で「消滅論」に抗う山村取材したルポ



●敬老の日 読書のすすめ

- 「本を読むと若くなる」「本を読むと美しくなる」読書が心の健康に役立ちます!
- 『おらおらでひとりいぐも』 若竹千佐子 (河出書房新社)
…74歳、ひとり暮らしの桃子さん。おらのいまはこわいものなし。新たな老いの境地を描いた、芥川賞受賞作
- 『おかげさまで、注文の多い笹餅屋です』 桑田ミサオ (小学館)
…60歳で作りはじめた笹餅が評判になり75歳で起業。笹餅で人を幸せにする、津軽の名物おばあちゃん。



おはぎとぼた餅

秋分の日にお供えするおはぎは、春にはぼた餅と呼ばれます。秋に収穫したたての小豆をそのままつぶしたのがおはぎ、冬を越して固くなった小豆をこしあんにしたのがぼた餅、という違いはあったようです。春の牡丹、秋の萩に見立てて、御萩と呼びました。

『日本の七十二候を楽しむ』
東邦出版より

●おいしい絵本をおやこでたのしくよもう!

- 『きょうのごはん』 加藤休ミ さく (偕成社) …ネコがご近所を練り歩いて夕飯パトロール
- 『トマトさん』 田中清代 さく (福音館書店) …真っ赤に熟れたトマトさんの気持ちがよくわかります
- 『サンドイッチ サンドイッチ』 小西英子 さく (福音館書店) …親子でサンドイッチが作りたくなる本です

10/2より
玉村町文化センター
原画展開催

心を育む絵本とわらべうた

9月6日 (木) 11時から 神村秀子先生
赤ちゃんマッサージ・育児相談

心を育む絵本とわらべうた

9月20日 (木) 10時~12時 横山由美子先生
十五夜のおだんごを作ろう

毎月15日は「^{うちどく}家読の日」です。それぞれのご家庭で、ぜひ取り組んでみてください。